

令和5年度 第1回 豊田市石野地域会議 会議録

開催日時	令和5年4月25日(火)	開会	閉会
		午後7時	午後8時20分
会場	石野交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：16人		
	会長：富田 和久 副会長：溝上 喜美男		
	委員：阿部 金一 伊藤 充繁 宇野 文康 川井 秀和		
	川井 正弘 河原 美枝子 小池 伸二 小山 伸二		
鈴木 敬樹 中田 実 藤村 信治 松井 茂			
三宅 乃婦香 森久 剛			
欠席者	0名		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、井沢主査		
内容	1. 豊田市民の誓い(手話動画) 2. 委嘱状交付 3. 市長講話(動画) 4. 猿投支所長あいさつ(担当職員の紹介) 5. 地域会議委員 自己紹介 6. 地域自治システムと地域会議の役割について 7. 地域会議年間スケジュール 8. 令和5年度の地域課題解決事業について 9. わくわく事業審査結果について 10. 事務連絡		

■議事(要約)

2 委嘱状交付

新規委員4名に委嘱状を交付

6 地域自治システムと地域会議の役割

資料2頁から13頁までを事務局から説明

質疑：資料9頁の山村部とはどこを指すのか。

回答：猿投地区で言うと石野と猿投台の一部、資料はあくまでも例示として示しているが、都市部と山村部で課題が明確に分かれているということではない。

質疑：今年度の諮問事項はあるのか。

回答：時期としては年2回あり、市役所内で2回諮問事項の照会が行われ、該当事項があれば地域会議に投げかける。今年度は秋口に諮問の予定がある。

質疑：活動する実働部隊としての地域とは何を指すのか。

回答：基本的には石野地域の中で動ける活動団体であり、その中で区長会は相談すべき大きな組織となる。

質疑：活動費は出るのか。

回答：市が地域課題解決事業として予算化していく。

必要に応じて委託で行うこともできるが、丸投げではなくアイデア出しやボランティア等で原則地域の人に関わってもらうことが条件となる。

7 地域会議年間スケジュール

資料 1 4 頁で確認

→結論：意見なし、承認

8 令和 5 年度の地域課題解決事業

資料 1 5 頁の事業計画書について事務局から説明

資料 1 7 ・ 1 8 頁の令和 4 年度のまとめ及び振り返りについて事務局から説明

質疑：防災イベント企画をどうするのが問題で、地域にノウハウがないので業者に委託する必要がある。

回答：イベントの企画を一から行うのは難しいが、他地域で既に行ったイベントをベースに石野地域の色を付けていく方法が良いと考える。小原や藤岡の方法を参考に、業者を入れてやっていく。同じ業者にする必要はないが、選択肢の一つではある。

9 わくわく事業審査結果

石野地域会議だより 6 月号（案）を確認し、9 事業の補助金交付決定を報告。

→結論：意見なし、承認

10 事務連絡

（次回の予定）

日時：5 月 2 3 日（火） 午後 7 時から

場所：石野交流館 1 階 多目的ホール

内容：地域課題解決事業の協議

●その他質疑

質疑：会議委員の決定方法は、どういう風に決めているか。

回答：委員の任期は一期 2 年で、現在第 9 期となる。地域の皆さんに公募のお知らせをするとともに当時の会長・副会長、区長会、支所で選考委員会を開催して決定する。会議は傍聴が可能なので興味のある方はどんどん参加していただきたい。また、推薦母体としていい団体の情報があればいただきたい。定数は条例で 20 名以内と規定されている。石野地域会議は現在 16 名の構成なので、次回改選時に委員数を増やすことは可能である。